

論文審査の要旨

報告番号	甲・㉔ 第 3009 号	氏名	和田真一
論文審査担当者	主査 小林 一女 教授 副査 小野 賢二郎 教授 副査 大塚 成人 教授		
<p>(論文審査の要旨)</p> <p>これまで、咀嚼力の評価法と実際に何をどの程度咀嚼できるかとの関連を調べた報告は無かった。また、色変わりガムによる咀嚼力評価法は簡便であり、「良い」「悪い」のおよその目安の指標になっていた。</p> <p>高齢者が常食相当の食材を咀嚼して 良好な嚥下の準備ができるか否かは従来の咀嚼能力評価では判定できなかったが、「咀嚼力判定ガム」で判定できうることが示された。ガムを噛むだけの検査であり、医療機関ではなく施設や在宅でも咀嚼力の評価が可能である。この評価法により、より本人が望む「おいしい」食形態を安全に提供できることにつながることを期待される。</p> <p>本論文が新しい知見を得ており、学術上価値のあるものと考えられる</p> <p>論文題名 : What type of food can older adults masticate?: evaluation of mastication performance using color-changeable chewing gum</p> <p>(高齢者はどのタイプの食物をかみこなせるのか? : 色変わりチューイングガムによる咀嚼能力評価)</p> <p>掲載雑誌名 : Dysphagia, (Online first), DOI: 10.1007/s00455-017-9807-1 2017 年</p>			

(主査が記載、500 字以内)